

がまごおり「みらいキャンバス」

第3回市民ワークショップ

蒲郡市教育委員会 教育政策課

2025.4.20

【支援事業者】(株)シアターワークショップ

【協力企業】(株)図書館総合研究所、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

(有)マル・アーキテクチャ、(株)国際開発コンサルタンツ

本日のスケジュール

14:00	ごあいさつ イントロダクション ・ 前回のワークショップの内容振り返り
14:10	基本計画の進捗について
14:30	市民共創のプラットフォームづくりを考えています
14:40	グループワークの進め方
14:55	-5分休憩-
15:00	グループワーク①（55分） ・ 自己紹介 ・ グループディスカッション「企画書にする、 『この施設やまちでやってみたいこと』を選ぼう」
15:55	グループワーク②（25分） ・ グループディスカッション「市民共創の プラットフォームについてグループで話してみよう」
16:20	事務連絡、アンケート記入
16:30	閉会

前回のワークショップの振り返り

第2回ワークショップの様子



日時 2025年2月9日（日）

会場 蒲郡市民体育センター

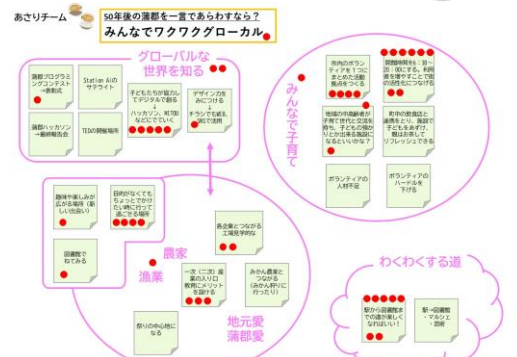
参加者 29名

テーマ この施設がまちとつながり、
10年、50年後の蒲郡がどうなっているか、
キャッチフレーズを考える

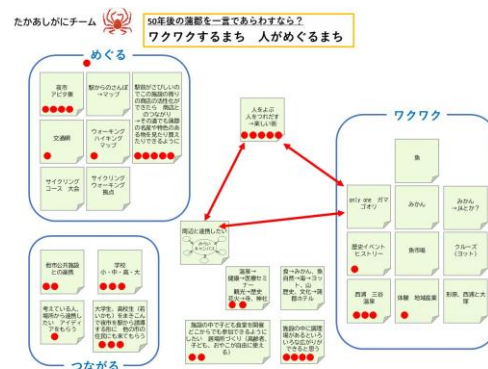
内容 第1回のアイデアをベースとしながら、
「あの場所と（で）、こんなことが
出来たら面白い！」というアイデア、
施設がまちの人や他の施設と一緒に
できることを考えた。チーム内で共有し、
50年後の蒲郡を一言で表すキャッチ
フレーズを作成した。

各チームのワークシート

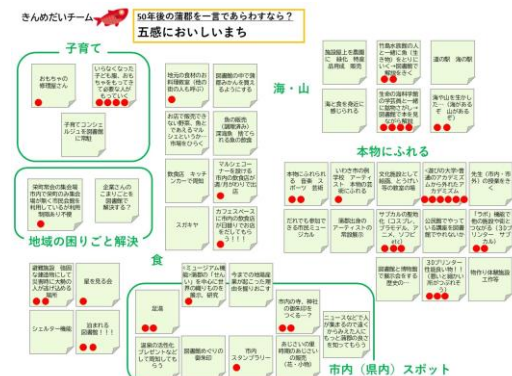
あさりチーム



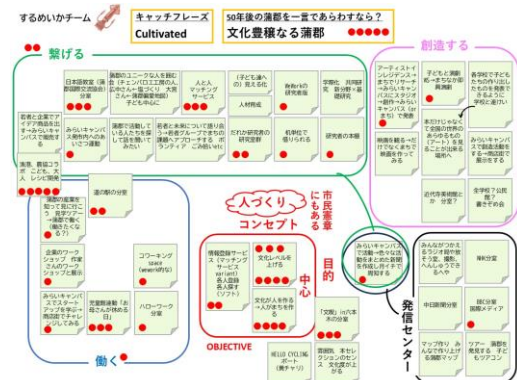
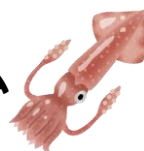
あかざえびチーム



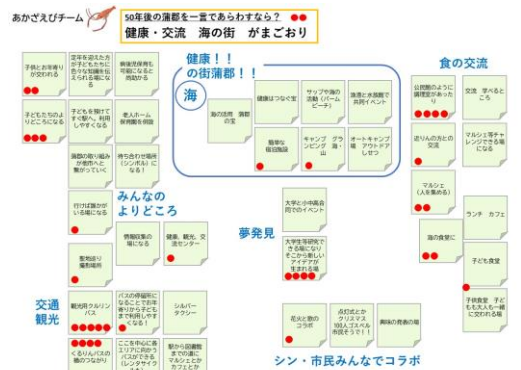
きんめだいチーム



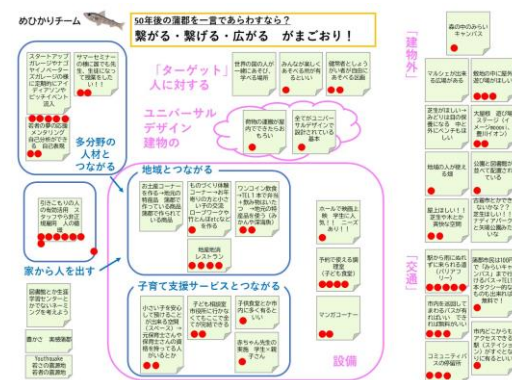
するめいかチーム



たかあしがにチーム



めひかりチーム



各チームの発表より



あさりチーム

- ✓ 「グローカル」は、グローバルとローカルを合わせた言葉
- ✓ 子どもや若者が知らない世界に出会ったり、世界に羽ばたくきっかけをつくりたい。地域の魅力を伝えて蒲郡愛を育てることにも取り組みたい
- ✓ ボランティア人材のマッチングを行い、「みんなで子育て」を実現する拠点にしたい



あかざえびチーム

- ✓ 市民と、市外の人にも蒲郡の魅力を発信し、ここに来れば色々な情報が得られる場所になる。この施設の取り組みを他の人に伝えることでつながっていく場所になると良い
- ✓ 観光用のアクセスや、くるりんバスがもう少し普及すると利用しやすくなる



きんめだいチーム

- ✓ 蒲郡市にある美味しい食べ物、海、山などの自然、本物に触れる遊びや学びができるの良い
- ✓ 科学館の学芸員さんと一緒に鉱物を探して図書館で調べるなど、遊びにも学びにもなる
- ✓ 蒲郡市での生活が豊かになる取り組みがあると良い

各チームの発表より



するめいかチーム

- ✓ 前回の「（文化を）耕す」という言葉を活かした。文化が人を作る、人がまちをつくる、文化を通したまちづくりがコンセプト
- ✓ 働く人と働く人、働く人と情報や、研究する人がつながるマッチングサービスがあると良い。大人と子ども、語学ニーズなどもつなげたい
- ✓ 文化を発信する場、発表する場があると良い



たかあしがにチーム

- ✓ 「連携する」を中心に、市内の他の施設と継続的に一緒に何かできるように、連携先のニーズを捉えることが必要
- ✓ 情報が集積する施設になることで、市を訪れた人がワクワクできるように
- ✓ 施設はマラソンやサイクリングの拠点になることも。人が訪れる機会を増やす、人がめぐるまちとなることで、市民も「ワクワク」するまちに



めひかりチーム

- ✓ 駅から誰もが行きやすくする。どの地区からでも来れるように。建物にはユニバーサルデザインが必要
- ✓ 「ここに来れば誰でも何かの役に立つかもしれない」という視点から、その経験がまた次に誰かにつながるような施設になると良い
- ✓ 若者が大人と一緒に何かに取り組める仕組みが必要

第2回ワークショップまとめ

地元の産業、商店街、食、自然などつながることで、市内にある「蒲郡ならではの」を見つけたり、発信していきたい

世界の情報とつながる拠点となることで、世界に羽ばたくきっかけになる施設に！

キャッチフレーズの実現に向けて、将来を担う子どもたちに対してどのようなサービスをし、何を残していけるか

「人と人とのつながりや営み」が根底にある。「みらいキャンバス」は人々が共に創っていく活動や情報が主人公となる施設



「みらいキャンパス」第2回 市民ワークショップ
アンケート回答より

感想をどうぞ！

- 未来の蒲郡が良いものであって欲しい…そんな想いが感じられました。「つながる」という言葉一つでも色々ある。
- 参加された皆さんが将来の希望を持っている方がたくさんいらして、あー蒲郡もこの街を豊かにしようと思っている方がいるんだなーと前向きになれた。
- 2回目からの参加なのもあり、話に入れるか不安でしたが、一見バラバラな事を言っているようで話して行く目的は地元が大好き、地元を盛り上げたい！なのだとよくわかり、蒲郡を盛り上げるためには！と話が出来とても楽しかったです。
- 1回目に参加出来なかったのが残念なくらいたくさんの方の意見と意見、前回の話したことを資料で見て、そこから新たな話し合いへと深掘り出来たこととてもいいなと思いました。未来の蒲郡の発表の上手なことに年をかんじました。
- 和気あいあいとした雰囲気の中で出来てとても楽しめました。有意義な一時にうございました！「繋がる」ことの大切さを感じた。
- 50年後、今の市民が「蒲郡の市民でよかった」新しい市民が「蒲郡の魅力を感じる街であってほしい。
- 新鮮な話し合いができました。なかなか先のことを考えられず（未来）今の精一杯の毎日なので…。
- 10年後は無理でも50年後なら実現できると思います。
- 今回初めてのワークショップ参加しました。どんな方たちとお話し合いをしたが、みなさんフレンドリーな方たちで職種も色々楽しかったです。
- あさりチームからアカザエビに移りましたがまた異なるメンバーと意見交換を好きになりました！
- 前回と同メンバーで楽しく参加できました。次回はさらに深掘りを行ければ時間があつという間に過ぎてしまいました。意見が反映されるといいなと思ったです。いいチームでした！
- さすが図書館のことで集まってくる人々なので、言葉のチョイスがずばり楽しませていただきました。
- 「みらいキャンパス」と蒲郡市をどうつなげるか、皆さんの思いを知れてとなかなか思いつかず難しかったです。ランニング後でぼーっとしてしまいました
- 施設だけではなく、「蒲郡のまちづくり」という大きなスケールで考えるこの部分最適ではなく全体最適で考えられたら良いですね。
- 蒲郡の良さを十分楽しめる図書館がきっかけになると良いなと思いました。
- 聴講するつもりで参加したのですが、完全に参加型で皆さんの色々な意見をワークショップの内容的に意見提案が出にくくて大変でした。
- チームによって進み具合が違うのでむずかしい部分がある。
- 楽しかったです。蒲郡の未来を感じました。

「みらいキャンパス」第2回 市民ワークショップ
アンケート回答より

言いそびれてしまったこと、今後の要望など、なんでもどうぞ！

- 話すこと以外での人とのつながりもほしいなと思っていました。話せばですが、人とのつながりがほしく、文字で話す（読める）場所にもなってくれたらうれしいです。コミュニケーションベタな人間より。
- デザイン力をみにつけることができるようにしてほしいです、を言いきれませんでした。
- 「子どもと女性が輝ける街は男性もお年寄りもみんな幸せになる」をキーワードに街づくりにつなげていけるいいなと思いました！
- 自宅近くでできる施設なので、死ぬまで多方面で活用できたら嬉しいですね。
- チームの方が、「みらいキャンパスが中心になる」と言っていたのが印象的でした！そうなのではない！！
- 蒲郡を出てしまう同級生が多いので、人口減少はしかたないと思っていましたが、蒲郡にいてもグローバルな世界とつながれるし、蒲郡の良い所をたくさん知って残ってくれる若い人が少しでも増えると良いです
- 話を聞いて人材はいるのになと思うので、このみらいキャンパスがつながる場となり、文化豊かな蒲郡となるためにお役に立てるといいなと思っています。
- 「文化豊かな蒲郡」とは、耕す→耕される→肥沃になる（心・人・まち）一次の芽（心・人・まち）が次々と出てくるというイミ。
- みんなの意見をくみ上げたすばらしい施設ができる気がしてきました。
- 子ども大人もどんな人よりほしい図書館になって欲しいです👍
- 現在、蒲郡共創拠点ここじゃオープンに向けて動いております！！この拠点は今日意見が上がったボランティアのマッチングも考えています！！是非お越しください！！
- 観光マップとか市に関する基礎知識を知りたいです。
- 皆様素晴らしい、勉強になりました。ありがとうございます。
- その場で考えるのはあとで「あーあれ言えばよかった」になりがちなので、リマインドの時に「これについて考えます！」と教えてもらえるとありがたいかもです！
- どんな人が参加しているのか気になります。データがあれば（参加フォームの内容忘れましたが）年齢層や男女比、職業などグラフなどで分かると参考になります！
- 子供たちの考えを聞いてみたい。
- 前回から比べて意見の具体性が上がったなと思いました！！ただ、まだ出るだろー！！と思いました。これを学校の授業でやってみるのはどうですか？？
- 第一回目で別の方が言われていたようですが、学生さん（中高生、可能であれば小学校高学年とか）の参加がもう少しあると良いかと思いました。
- たしかに学生は少ないよね。学校側に呼びかけましょう。
- 子供グループ「小・中」「高」ほしい。

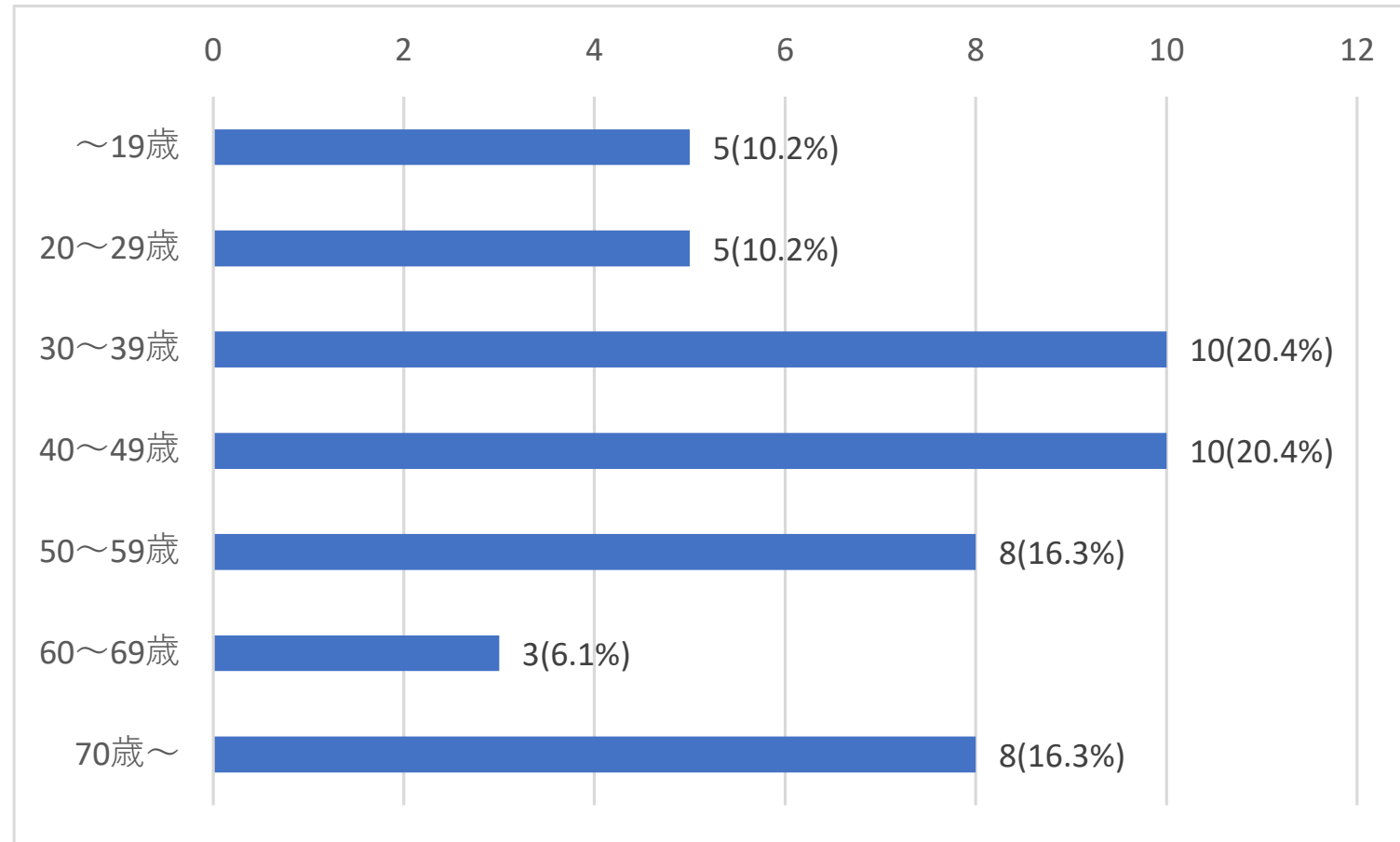
お手元に、アンケート結果もお配りしています。

【アンケートでいただいた質問】

- ワークショップの内容的に意見提案が出にくくて大変でした。
- チームによって進み具合が違うのでむずかしい部分がある。
- その場で考えるのはあとで「あーあれ言えばよかった」になりがちなので、リマインドの時に「これについて考えます！」と教えてもらえるとありがたいかもです！
- 第一回目で別の方が言われていたようですが、学生さん（中高生、可能であれば小学校高学年とか）の参加がもう少しあると良いかと思いました。

【アンケートでいただいた質問】

- どんな人が参加しているのか気になります。データがあれば（参加フォームの内容忘れましたが）年齢層や男女比、職業などグラフなどで分かったら参考になります！

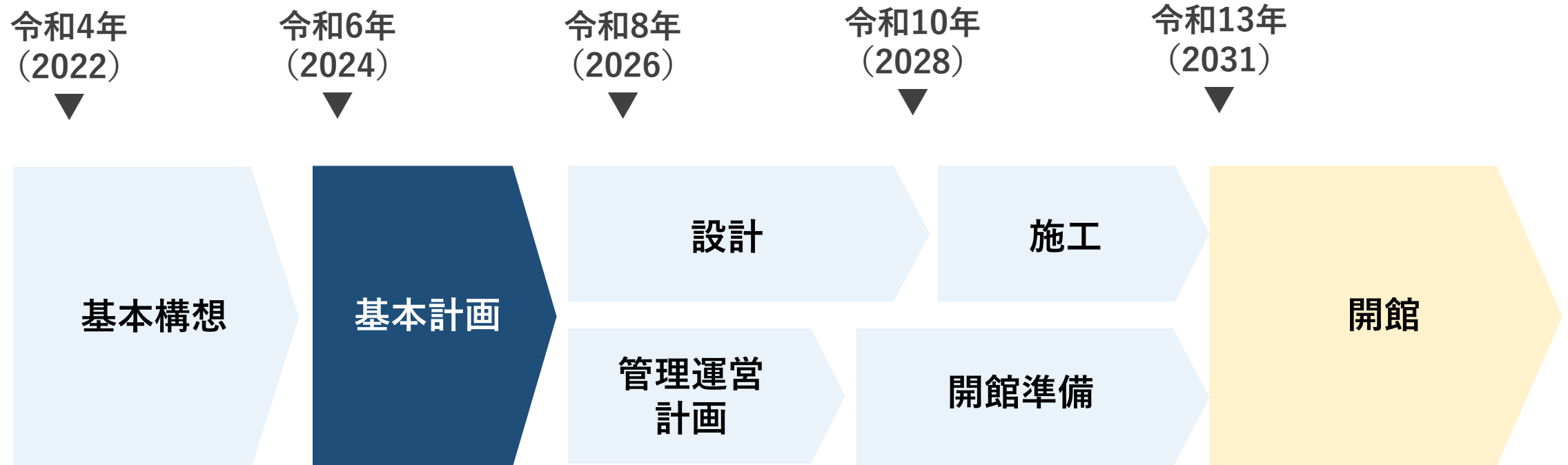


※第2回開催時点での申し込み総数

基本計画の進捗について

事業スケジュール

令和13年度の開館に向けて、以下のようなスケジュールで事業を進めていく予定です。
現在は、基本計画の検討に着手しています。※令和7年秋頃策定予定



いまココ！

現在考えていること

基本計画とは？

「設計」「管理運営計画」の元となるマスタープランのことです。

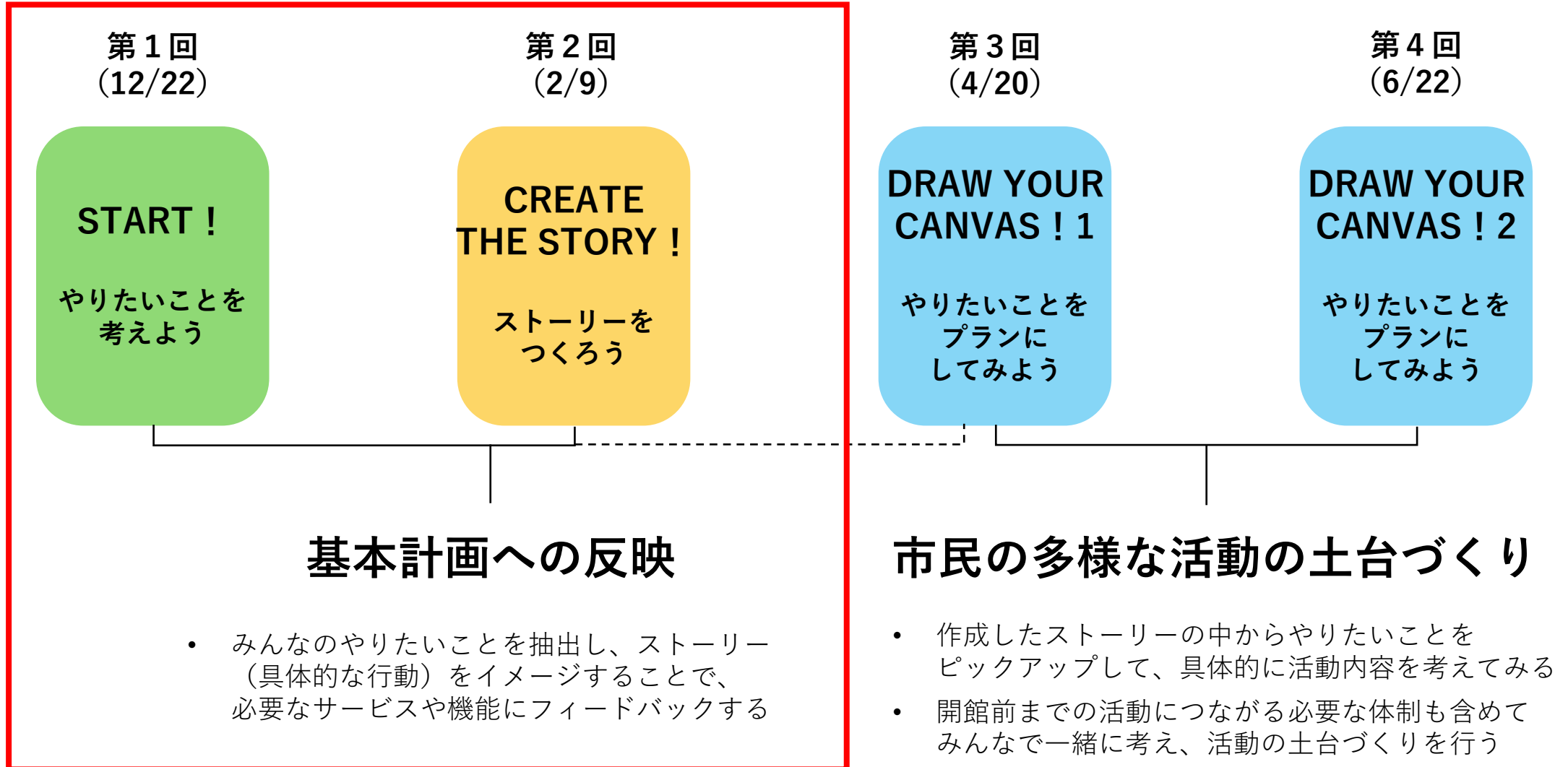
施設の機能、部屋などの規模・仕様、必要なサービスなどを具体的に定めていきます。

本施設では、「市民がやりたい活動」をもとにこの基本計画をつくりあげます。

- ✓ 施設の機能
- ✓ 必要なサービス
- ✓ 部屋などの規模、仕様
- ✓ 機能相関図（ゾーニング）
- ✓ 敷地における施設の配置方法
- ✓ 蔵書冊数
- ✓ 駐車場台数
- ✓ 事業手法
- ✓ 運営手法
- ✓ デジタルの活用 etc.

今日はこれまで議論してきた、施設の機能、サービス、機能相関図についてお話しします。

ワークショップ全4回の流れ



第1回ワークショップでの意見（ワークシート、発表内容）

この施設を通じて様々な要素に触れることができる

ひらめき→活動→発表
というつながりがある

楽しいイベントがあったら参加してみたい

3Dプリンター
でものづくり

好きなスペースで
読書や音楽鑑賞

一人でぼーっと
したい

コーヒーを飲みながら
本を読む

子どもと一緒に絵本
探し&読み聞かせ

市外の人に蒲郡を
アピール

情報のみでなく発信
することができる

子どもの遊び場

子ども同士でわいわい
する空間が欲しい

子どもとイベント・
ワークショップに参加

蒲郡市の文化に
触れる

第1回ワークショップまとめ

予定されている機能から、
はみ出した、拡張した
アイデアが生まれた！

活動の実現には、機能の混ざり合いや、
何にでもなれる、どこにでもつながれる場の在り方が重要

可変性のあるスペースや、
アナログや最新デジタルまで、
様々な設備が気軽に使える環境も大切

参加する、教える、教えられるな
どの交流が大きなテーマ。
一人で過ごしたいという意見も。
多様な過ごし方の実現が必要

子どもたちがいかに
「みらいキャンバス」を
使ってくれるか

これまでの蒲郡を大事にしながら、
これからの蒲郡をつくる！



第2回ワークショップでの意見（ワークシート、発表内容）

地元の農業や漁業とのつながり
をつくり、地域の魅力を伝えて
蒲郡愛を育てる

文化を発信する場、
発表する場

グローバル

繋がる・繋げる・広がる

蒲郡市にある本物に触れ
る遊びや学びができる

施設の取り組みを他の人に伝える
ことでつながっていく場所に

情報が集積する施設となる
ことで、市を訪れた人がワ
クワクできる

子どもや若者が知らない世
界に出会ったり、世界に羽
ばたくきっかけをつくる

みんなで子育て

研究できる場所になりそ
こから新しいアイデアが
生まれる場

他分野の人材と
つながる

人、情報、まちなかとの
マッチング

第2回ワークショップまとめ

地元の産業、商店街、食、自然などつながることで、市内にある「蒲郡ならではの」を見つけたり、発信していきたい

世界の情報とつながる拠点となることで、世界に羽ばたくきっかけになる施設に！

キャッチフレーズの実現に向けて、将来を担う子どもたちに対してどのようなサービスをし、何を残していけるか

「人と人とのつながりや営み」が根底にある。「みらいキャンバス」は人々が共に創っていく活動や情報が主人公となる施設



事業・サービス内容の方向性

ワークショップから…

- 基本構想で導入することとしていた「図書館機能」「ホール機能」「生涯学習センター機能」からはみ出した、拡張したアイディアが生まれた
- こども（子育て）に関する意見が多数あった
- 多様な活動、過ごし方の実現には、機能の混ざり合いや、何にでもなれる、どこにでもつながれる場の在り方、様々なニーズに応えられる可変性のあるスペースが重要



みらいキャンバスならではの「共創機能」、
こども、親の「やりたい」をかなえられる
「こども・子育て機能」を含めた
5つの機能を核に



基本構想段階から目指していた「融合」を
いっそう進める

事業・サービス内容

「共創」機能

新

市民の多様な活動を支え、これまでにない新たな出会い・交流を創出する「みらいキャンバス」の“核”

- ✓ 情報発信
- ✓ 活動支援・相談窓口
- ✓ 交流促進
- ✓ 若者・こどもの集いの場の形成
- ✓ 多様な学びの場の提供
- ✓ 地域・企業連携
- ✓ 学び合いの場の創出
- ✓ 貸館管理運営

若者・こどもの集いの場の形成＞こどもたちのサードプレイスづくり例



青少年プラザb-lab

<https://b-lab.tokyo/blog/1745>

事業・サービス内容

「図書館」機能

ゆとりのある、居心地の良い空間で、多様な学び・活動をアウトプットできる自由度の高い“知の拠点”

- ✓ 資料収集・蔵書目標
- ✓ 学びのネットワークを活かしたサービス
- ✓ 本を活かした空間づくり
- ✓ デジタルによるサービス拡充
- ✓ その他（将来の動向への対応）

デジタルによるサービス拡充＞蒲郡アーカイブ例



せんだいメディアテーク どこコレ？

<https://www.smt.jp/projects/doko/2023/07/-7-1.html>

事業・サービス内容

「ホール」機能

多様な活動を表現・発信する市民が活用しやすい開かれた“共創ホール”

- ✓ 多目的な活動・体験・鑑賞の創出
- ✓ 市民による発信・表現の場
- ✓ 開かれた融合を実践するホール

多目的な活動・体験・鑑賞の創出＞多様な公演・展示などの鑑賞例



茅野市民館 ハヶ岳JOMONライフフェスティバル

事業・サービス内容

「こども・子育て」機能

新

こども・子育て世代が、気軽に利用できる“こども・子育てハブ拠点”

- ✓ こども・子育ての交流の場づくり
- ✓ こども・子育て相談、窓口
- ✓ こども・子育てに関する情報発信
- ✓ こども・子育てサポート

こども・子育ての交流の場づくり＞こどもの学びに繋がる場・プログラムの実施



VIVISTOP NITOBЕ クリスマスに本屋をオープンしよう！

<https://www.nitobebunka.ac.jp/vivistop/221224-2/>

事業・サービス内容

「生涯学習（中央公民館）」機能

社会教育の普及・促進、文化・芸術の振興に向け動く“学びの拠点”

- ✓ 生涯学習の普及及び促進
- ✓ 文化・芸術の振興
- ✓ 社会教育の普及及び推進

文化・芸術の振興＞音楽のまちの推進例



東広島芸術文化ホールくらら ロビーコンサート

ワークショップ全意見、似たもの同士を近くに並べてみました。

[illegible]

近くにあるものを見比べていくと…

活動のかたまりがみえてきました。



似たような活動を集めてみる…

27

機能で切り分けない。

さまざまな活動が混ざり合った

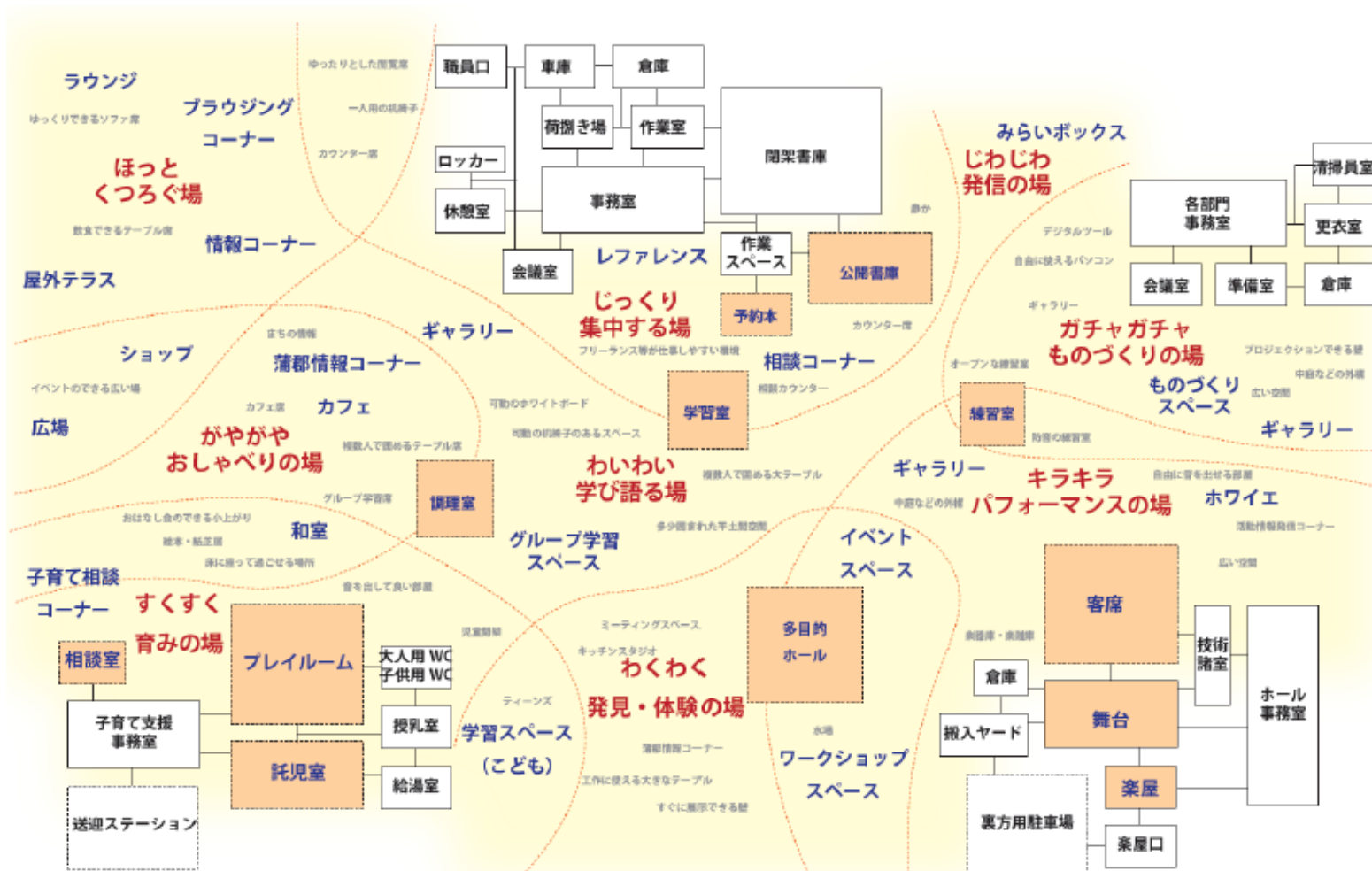
9つの場づくり。

9つの場の設定

- 「みらいキャンバス」においては、機能ごとに分かれるのではなく融合が必要
- ワークショップでの意見を踏まえ、基本構想で示した3つの役割「みらいスペース」「みらいスタジオ」「みらいステージ」を活動規模に合わせて細分化し、9つの「場」を設定

	みらいスペース 憩い・つながる場 自由な居場所であるとともに、蒲郡の多様な ヒト・モノ・コトが出会い、つながる	みらいスタジオ 知の拠点 新たな知識・情報・経験に触れ、「知りたい」学び 「やってみたい」活動を深め、高めていく	みらいステージ 発信・表現の舞台 学び、活動したことを発信や表現によって 人に伝えて、学びが循環し、一人ひとりががやく
ひとりで	ほっと くつろぐ場	じっくり 集中する場	じわじわ 発信の場 ※活動・体験のSNSによる個人での発信や、施設 内に配置するみらいボックス、Web上のみらいス トリームによる発信等。
だれかと	がやがや おしゃべりの場	わいわい 学び語る場	ガチャガチャ ものづくりの場
みんなで	すくすく 育みの場	わくわく 発見・体験の場	キラキラ パフォーマンスの場

機能相関図

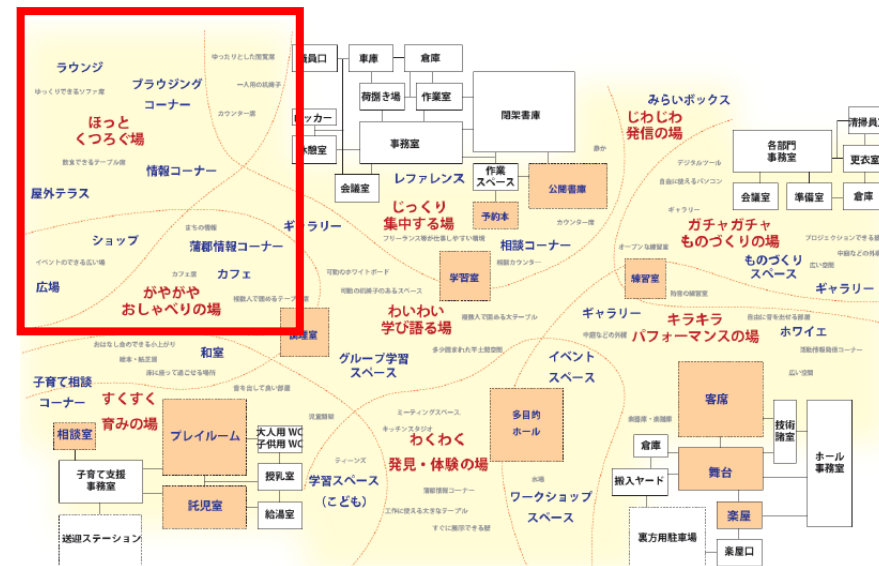


- 9つの場が重なり合い、相互に関係
- ホール、閉架書庫、事務室などある程度閉じられる必要のある空間を除き、基本的には融合した一体的な空間
- やりたいことの特性や規模に合わせて空間の一部が可変するつくり

9つの場：みらいスペース

ほっとくつろぐ場

ひとりだけの時間を大切にできる。
ほっと一息ついたり、自由にくつろげる場。

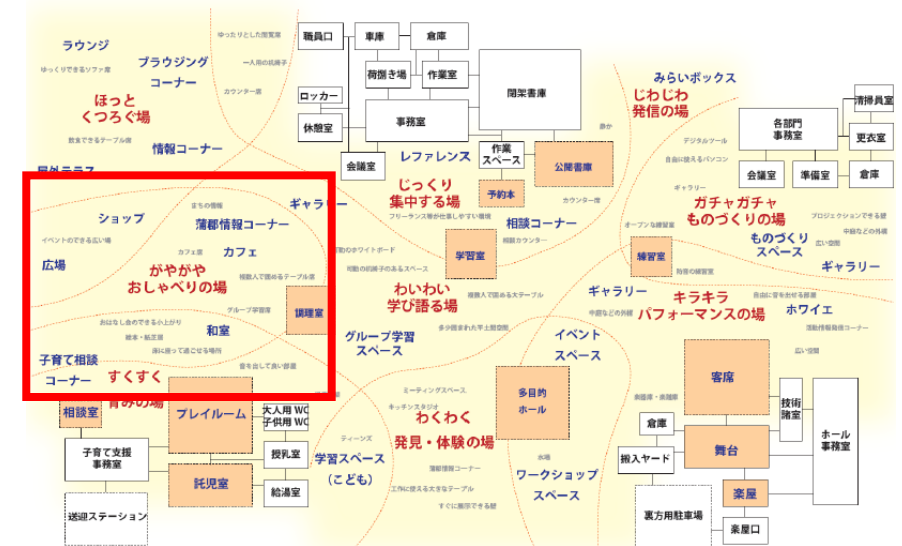


- ・ 飲食をしながら、くつろいで過ごす【共創機能】
- ・ ただただ、ひとりでぼーっとする【共創機能】
- ・ 本をゆっくり読む【図書館機能】

9つの場：みらいスペース

がやがやおしゃべりの場

だれかと待ち合わせしたり、おしゃべりしたり、
買い物をしたり。賑やかな声と雰囲気広がる場。

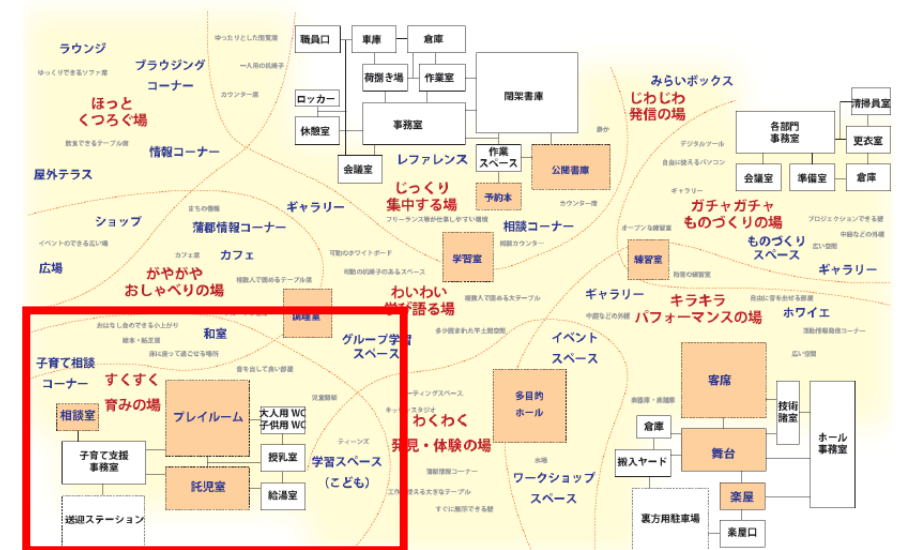


- ・ キッチンカーで購入【共創機能】
- ・ マルシェで出店、購入【共創機能】
- ・ 休憩、軽飲食をしながら過ごす【共創機能】
- ・ 屋外で読書をして過ごす【図書館機能】

9つの場：みらいスペース

すくすく育みの場

子どもがのびのびと遊べる、学べる。大人たちが子どもを見守りながら、みんなで未来を育む場。

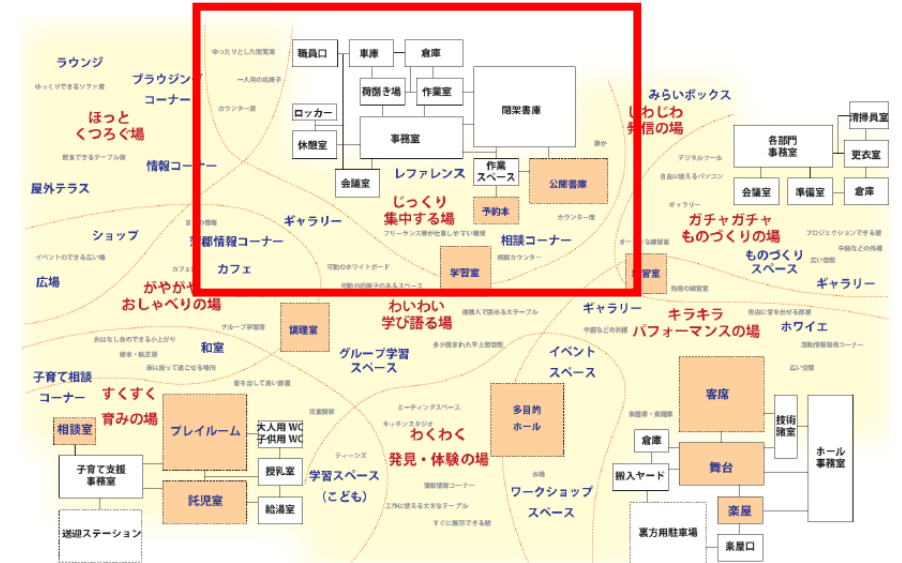


- 子どもの居場所、保育機能がある【こども・子育て機能】
- 子どもの遊び場（プレイルーム）【こども・子育て機能】
- 子どもと一緒に絵本探し＋読み聞かせ【図書館機能】

9つの場：みらいスタジオ

じっくり集中する場

勉強、読書、仕事、調べもの、次に読みたい本探し…。
ひとりでやりたいことにじっくり向き合う場。

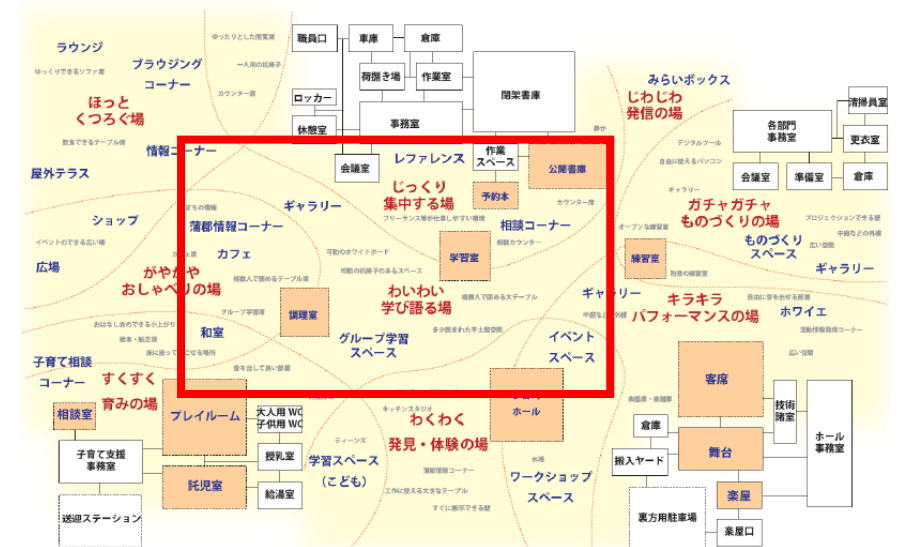


- 本をじっくり読む【図書館機能】
- 本を探す・借りる【図書館機能】
- 集中して勉強・作業する【共創機能】

9つの場：みらいスタジオ

わいわい学び語る場

共通の趣味、相談事、日常の悩み…など。
本のある空間で、だれかと何かを語り合う場。

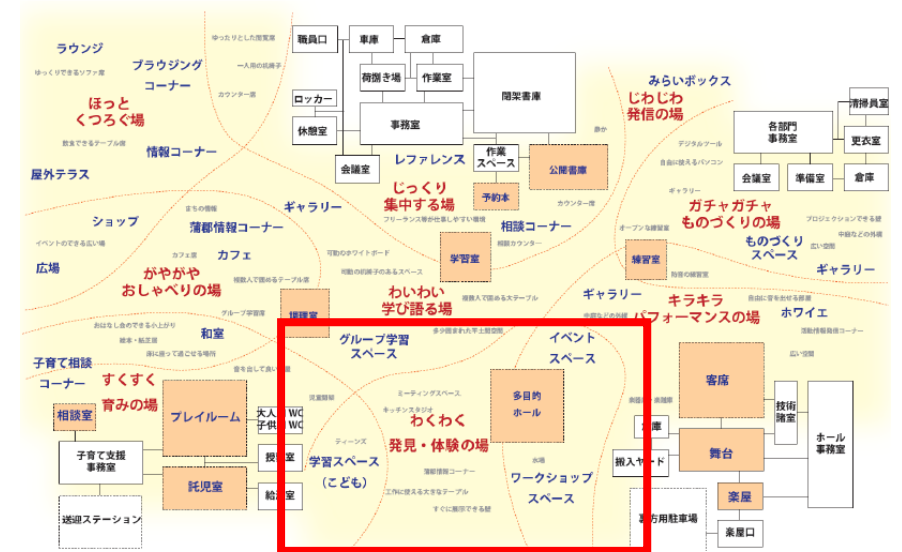


- 本棚や展示のある空間【共創機能】【図書館機能】【ホール機能】
- 誰かから学ぶ、教わる【共創機能】
- 数人でミーティングをする【共創機能】

9つの場：みらいスタジオ

わくわく発見・体験の場

興味のある講座に参加したり、自分の得意分野で講座を開いてみたり、「学びあい」から発見と体験がある場。



- 壁面を活用したギャラリー【共創機能】【ホール機能】
- 集まった人々とのワークショップ、レクチャー【生涯学習機能】
- 本棚や台での作品展示【共創機能】【図書館機能】【ホール機能】

9つの場：みらいステージ

じわじわ発信の場

個人的に好きなこと、今ハマっていること、
面白いと思ったことなどを、自由に発信できる場。

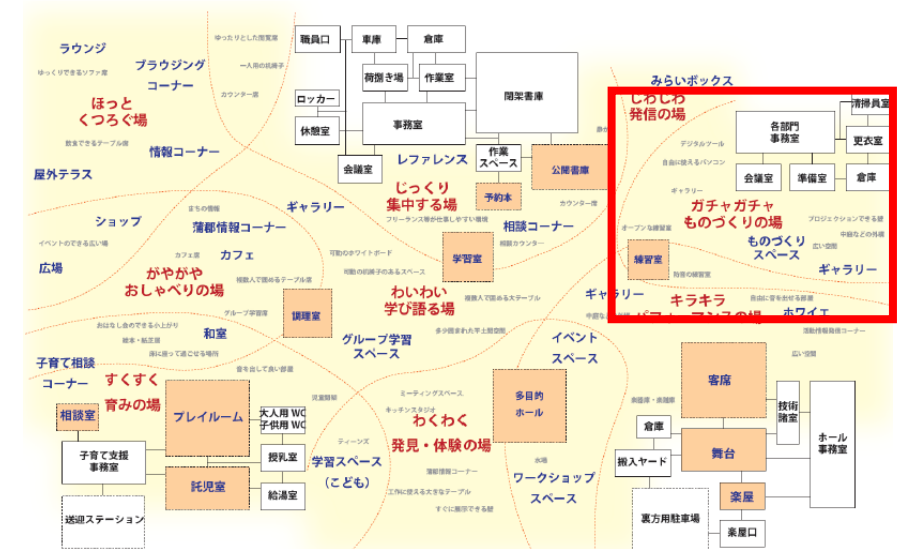


- ・ 市民自ら情報発信を行う【共創機能】
- ・ 施設内外の活動や情報の発信を行う【共創機能】【図書館機能】【ホール機能】【こども・子育て機能】【生涯学習機能】

9つの場：みらいステージ

ガチャガチャものづくりの場

ちょっとしたアナログ工作から、気軽に取り組めるデジタルまで、つくりたいものを、だれかと一緒につくれる場。

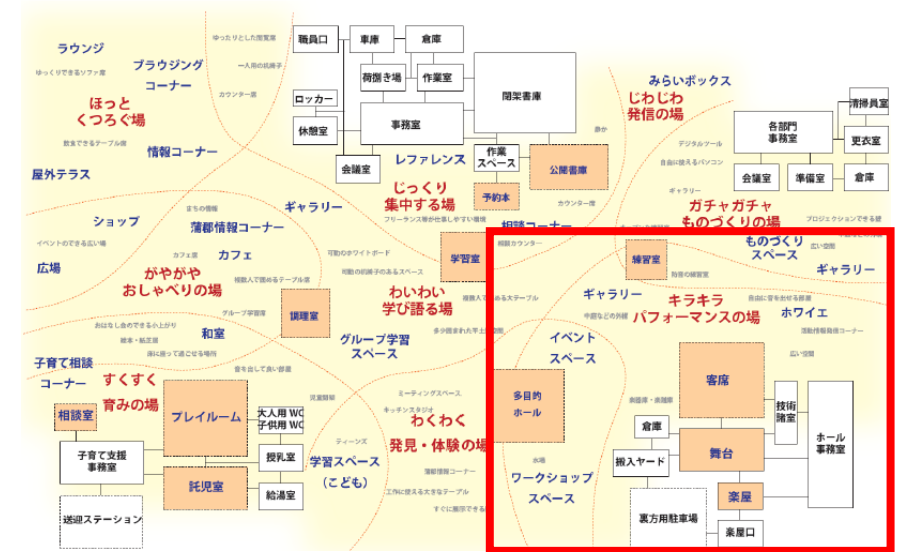
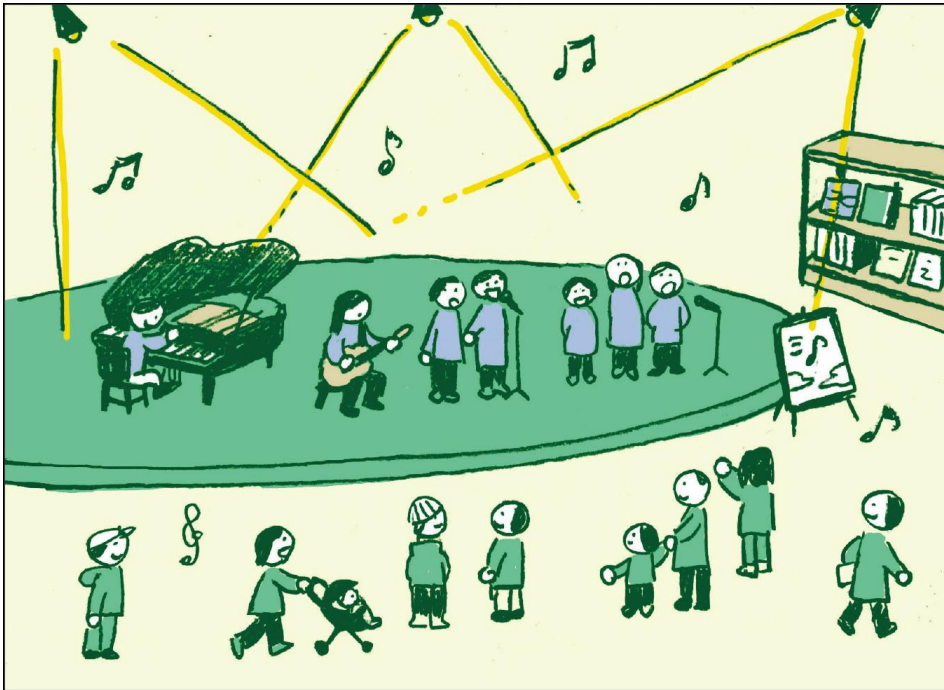


- 工作機器やスペースを使う【生涯学習機能】
- 活動企画やミーティング【共創機能】
- 本棚、台での作品展示【共創機能】【図書館機能】

9つの場：みらいステージ

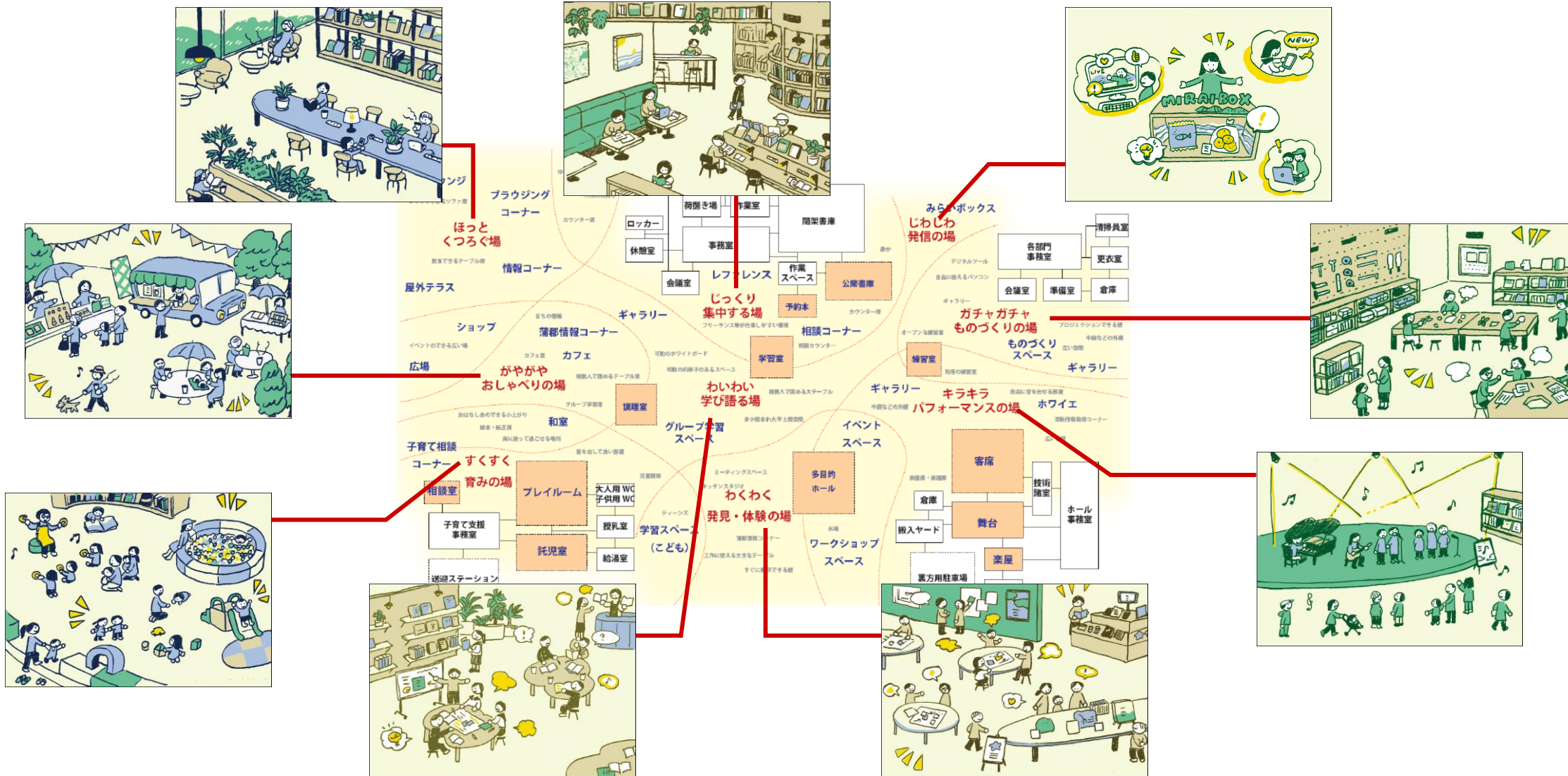
キラキラパフォーマンスの場

芸術を鑑賞する、日ごろの成果を発表・表現するなど、
生のパフォーマンスで、みんなの感性を育む場。



- ・ ホールでのパフォーマンス【ホール機能】
- ・ 通りかかって気軽に見られる【共創機能】【ホール機能】
- ・ 周辺には関係のある本が並んでいる【図書館機能】

9つの場：様々な機能と活動が混ざり合っている

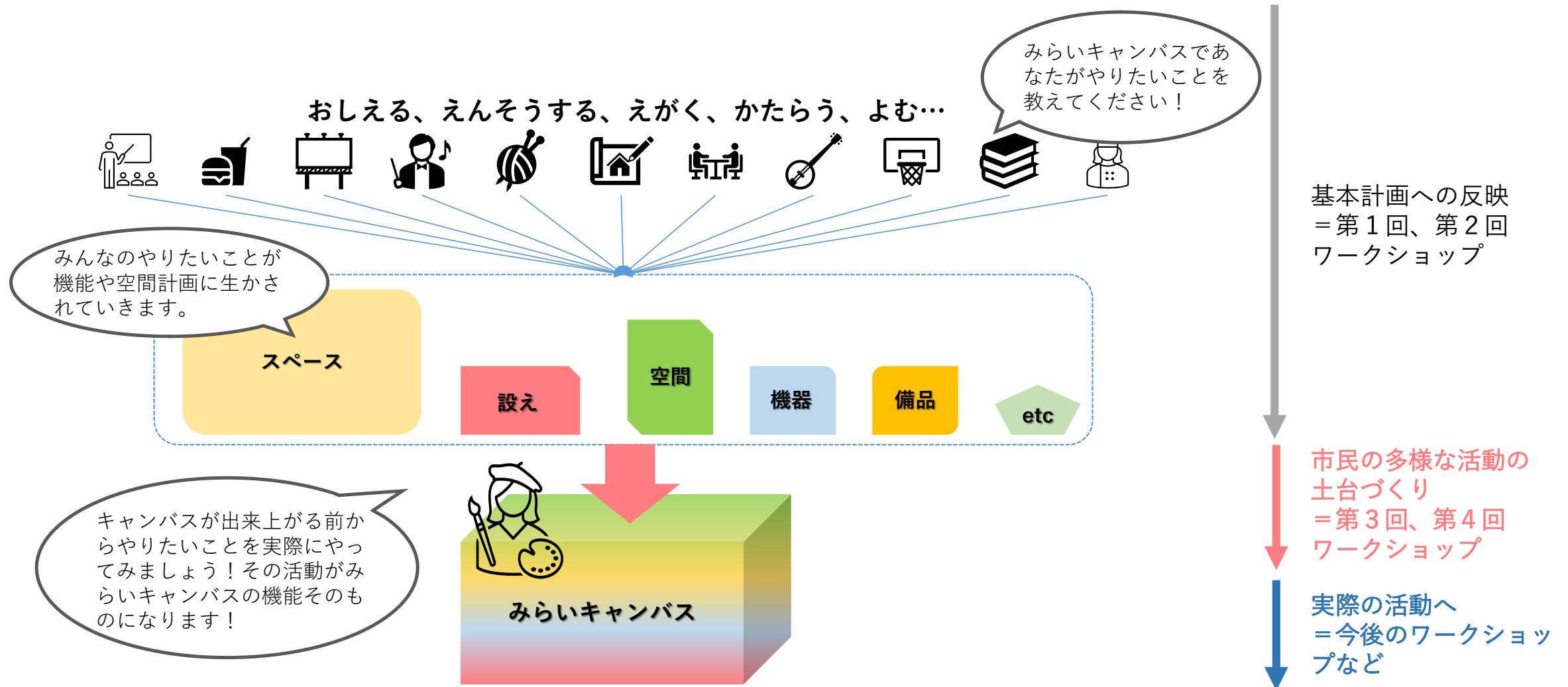


想定される必要な諸室

分類	9つの場	部屋など
みらいスペース	ほっとくつろぐ場	ブラウジングコーナー、ラウンジ、情報コーナー、屋外テラス
	がやがやおしゃべりの場	カフェ、ショップ、蒲郡情報コーナー、広場
	すくすく育みの場	子育て相談コーナー、託児室、プレイルーム、調理室、和室、学習スペース（こども）
みらいスタジオ	じっくり集中する場	学習スペース、レファレンス
	わいわい学び語る場	グループ学習スペース、ギャラリー、相談コーナー
	わくわく発見・体験の場	ワークショップスペース、イベントスペース、公開書庫、ギャラリー、調理スペース
みらいステージ	じわじわ発信の場	みらいボックス（情報発信機能）、ギャラリー
	ガチャガチャものづくりの場	ものづくりスペース、ギャラリー
	キラキラパフォーマンスの場	メインホール、多目的ホール、ホワイエ、ギャラリー、練習室、楽屋

**市民共創のプラットフォーム
づくりを考えています**

みらいキャンバスでの共創の流れ



市民共創のプラットフォームとは？

- 皆さんが「やりたい！」と思ったことを開館前から実際にやってみて、開館後の施設のサービスへとつなげられるような、市民共創のプラットフォームづくりを検討中
- 本日の後半で、市民共創のプラットフォームについてグループで意見交換をする場を設けています。



市民による活動事例

開館に向けた機運醸成・PRと市民のアイデア実践

がやがやおしゃべりの場

わいわい学び語る場



【「おにクル」開館プレ事業】

- 開館前の約1年半、期待感醸成や開館周知を目的にコンセプト「つむぐ。おる。」のもと、プレ事業を実施
- コンセプト「つむぐ。おる。」のもと、開館後におにクルで実施されそうな異なる機能同士の連携事業などを実施
- 開館後におにクルで実施されそうな異なる機能同士の連携事業、周辺道路を活用した社会実験、新施設の工事現場見学のほか、ワークショップから生まれたアイデアを実践

市民による活動事例

町民が図書館をつくる

わいわい学び語る場

わくわく発見・体験の場



【まちとしょテラソ】

- 旧図書館から新図書館（まちとしょテラソ）への引っ越し作業を町民とともに実施。スタッフ、ボランティアで協働して本を運び出した
- オープニングセレモニーの計画を立てる「開館行事プロジェクト」を町民と実施

市民による活動事例

自分たちの空間を自分たちでつくる



ガチャガチャものづくりの場

わくわく発見・体験の場

【VIVISTOP 柏の葉 Scrap & Rebuild Project】

- VIVISTOP 柏の葉（子どもたちがものづくりを通して創造性を育む拠点）の改修の際に、子どもたちが段ボールで実寸大の模型を作り、それをもとに設計、施工
- 子どもたちが自ら手を動かし、最終的な空間が出来上がるまでを参加型のプロセスを楽しみ、オーナーシップやメンバーシップを実感しながら作り上げた。
- 全プロセスを冊子と映像で記録

市民による活動事例

市民が自分たちのまちにつくる「本のある場」



みんなの図書館さんかく

わいわい学び語る場

ほっとくつろぐ場

じわじわ発信の場

【まちライブラリー】

- 個人や団体が、自宅や店舗、病院、学校などの一角に本棚を設置して本の貸し借りなどを行う場。いつでも誰でもどこでも始めることができるため、多様な設置者（オフィス、大学、自宅、図書館…）がいる

今日のワーク①

- DRAW YOUR CANVAS ! 1 やりたいことをプランにしてみよう -

第3回・第4回のテーマ

第3回

企画書にする、「この施設やまちでやってみたいこと」を選ぶ



第4回

グループで話し合いながら企画書を作成する



企画書完成！



その後

市民共創のプラットフォームを通じて実際に活動をスタート！

今日（第3回）のテーマ①

企画書にする

「この施設やまちでやってみたいこと」

を選ぶ

企画書（例）

「みらいキャンパス」市民共創のプラットフォーム 活動企画書	
作成日 2025年〇月×日 団体名 がまごおりサウンド・クリエイション	
1.企画名（タイトル）	みらいキャンパスのBGMをつくる
2.企画の目的・背景	皆で蒲郡の風景に関する音を集めて編集する。 作ったものはみらいキャンパスのBGMとして使用する。 みらいキャンパスに来た人にとって、蒲郡のことを少しでもわかるといいし、話のきかけにしたい。 また、がやがやしていれば、気兼ねなくお喋りができてうれしいから。
3.企画内容	【具体的な活動内容】 メンバーが月に1回ほど集まり、蒲郡の音を録音して、編集し、BGMを作る。 採取する音は、ビーチの波打ち際の音、みかん畑の通り抜ける風、山の鳥の鳴き声、国道23号線の行き交う音、名鉄の踏切、オートレースの音などをサンプリングして音楽にする。録音は個人のスマートフォンで、編集はパソコンからタブレットで行う。 作成したデータは市役所か図書館に開館まであずかってもらうよう交渉するほか、可能であれば、ケーブルテレビ「三河湾ネットワーク」でも使ってもらう。 また、データを無料で配布して、集中するときのBGMとして市民にも使ってもらう。 【ターゲット層、想定参加人数】 みらいキャンパスに訪れる市民／観光客 など 【広報・集客方法など】 特になし（東BGM作りなのでイベントは実施しないため） 【実施場所】 ■開館前 3.企画内容【具体的な活動内容】で示した各地域で蒲郡ならではの音を取り。編集は市内の集会所を使用する予定 ■開館後 各地で音を取り。編集はみらいキャンパスの編集スタジオを希望！

「みらいキャンパス」市民共創のプラットフォーム 活動企画書	
作成日 2025年〇月×日 団体名 がまごおり学び広げ隊	
1.企画名（タイトル）	がまごおり学
2.企画の目的・背景	みらいキャンパス基本計画策定のワークショップにおいて、参加者からは蒲郡には多くの魅力、良いところがあり、それらを発信していくべきという意見が多く挙がった。一方、「蒲郡には何もない」という若者などもある。そういった人々に向け、蒲郡のすべてを詰め込んだツアーを実施することで、魅力を発見してもらいたいと考えている。
3.企画内容	【具体的な活動内容】 蒲郡には何もないという若者に対し、蒲郡のすべてを詰め込んだツアーを実施。まずはみらいキャンパスの中で蒲郡の魅力ある多数のポイント（を詰め込んだ展示を行い、その場で解説。その後、展示されているもののうち2～3か所について、実際に見て回る。 展示においては、図書館の本を使うほか、施設内の相談員にも相談しながら地元の人と作成し、ツアー内での説明も展示を作りながら知り合った人たちに行ってもらうことを基本とする。 【ターゲット層、想定参加人数】 若者、蒲郡の魅力に気づいていない人々 15人程度／回 【広報・集客方法など】 チラシ、SNS、HP 【実施場所】 ■開館前 市民会館、各地域公民館（集合・解散地点） ■開館後 みらいキャンパス広場（集合・解散地点）

- 今回作成する企画書の例を各グループに配布しています
- 第4回の最後には、各グループで作成した企画書の発表をしてもらいます
- 第3回、第4回のワークのゴールとして、参考にしてください

今日のアイデアが活かされるところ

- 「やってみたい」と考えるだけでなく、実際の活動イメージを具体的にすることでよりリアルなものとして感じられる
- これから開館までの間に行う活動や、開館後に行う活動、あるいはこれから開館後もずっと続く活動の種となる
- 考えた活動を行うために何が必要かを検討することで、これからの準備に向けた材料となる

グループワークの進め方

1 | 1回目、2回目の振り返り



2 | 企画書とする活動を選ぶ



3 | グループ内で企画書作り



4 | 全体発表

グループワークの進め方



1 | 1回目、2回目の振り返り

15分

2 | 企画書とする活動を選ぶ

30分

今日は2までが目標です。
その先に進められるグループは、
進んでも構いません！

3 | グループ内で企画書作り

4 | 全体発表



1 | 1回目、2回目の振り返り

1回目、2回目のワークショップのワークシートをお配りしています。

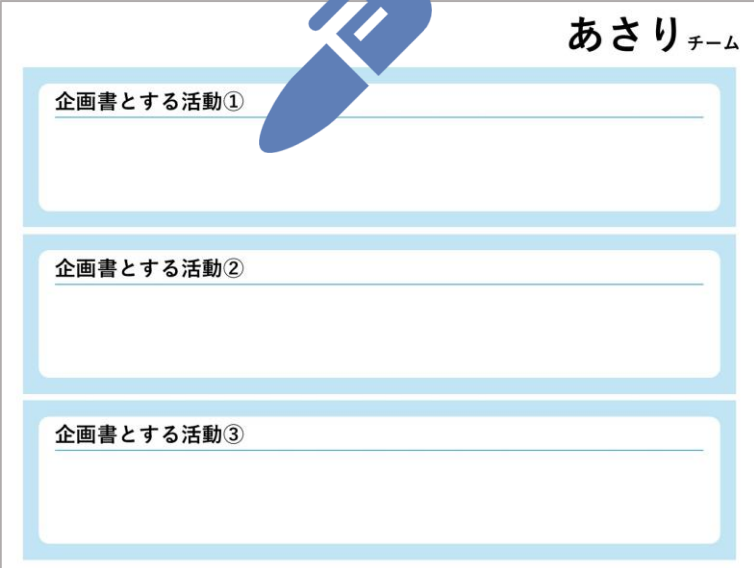
ご自身のグループで話し合った内容を振り返ってみましょう。



2 | 企画書とする活動を選ぶ

1回目、2回目のアイデアをベースにしながら、企画書とする活動をグループ内で選びましょう。
選んだら、A3用紙に記入してください。

- 企画書とする活動は、これまでに出来た意見から選ぶことを基本としますが、新規のものでも構いません。
- 選ぶ活動は、1グループ3個までとしてください。ただ、この後具体的に内容を考える段階でそれより少なくなるのはOKです。



The image shows a template for an A3 paper. At the top right, it says 'あさり チーム' (Asari Team). On the left side, there is a large blue pen icon. The main body of the paper is divided into three horizontal sections, each with a title and a large empty box for writing. The titles are '企画書とする活動①', '企画書とする活動②', and '企画書とする活動③'.

あさり チーム

企画書とする活動①

企画書とする活動②

企画書とする活動③

3 | グループ内で企画書作り

STEP 1 項目に沿ってディスカッション

選んだ活動に関して、企画書作成に向けてグループで話し合い、項目を埋めていきましょう。

- 今日時間があるグループは、企画書作成にあたってあったほうが良いもの（写真、イラストなど）がないかを話し合い、次回持ってこられるように準備をしましょう。



企画書作りにあたって…

考える項目

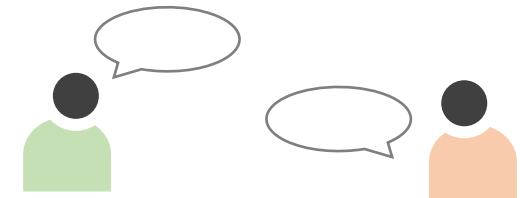
- 団体名
- 企画の目的・背景
- 企画内容：具体的な活動内容、ターゲット層、広報・集客方法、実施場所
- 必要機材・予算など：活動に必要な機材など、予算（内容、金額）
- メンバーやパートナーシップ：想定メンバー人数、連絡手段、協力団体・パートナーシップなど、助力を仰ぎたい人など

3 | グループ内で企画書作り

STEP 2 企画書を書き込もう！

企画書作成にあたって抑えておきたいポイントを踏まえ、企画書を作成します。
持ってきた材料があれば、それもぜひ使ってください。

「みらいキャンパス」市民共創のプラットフォーム 活動企画書	
作成日 団体名	
1.企画名(タイトル)	
2.企画の目的・背景	
3.企画内容	【具体的な活動内容】
	【ターゲット層、想定参加人数】
	【広報・募集方法など】
	【実施場所】 ■開始前 ■開始後



4 | 全体発表

最後に、グループの代表者にグループワークの成果を発表していただきます。

全体発表へ向けて、グループとして説明したい内容を整理していきましょう。



ワークショップのお約束

は

恥ずかしがらずに、どんどん書いてみる、出してみる。

ひ

否定しない！ 自分と違った意見も、それもあるね。

ふ

ふせん1枚に一意見。なるべく沢山、なるべく短く。

へ

へえ！ それ、いいね！ 真似してOK！ 便乗して発想を広げる。

ほ

他の人・グループの意見を聴く、褒める。

休憩

15 : ● まで

アイスブレイク

-自己紹介-

100の質問



パッと開いたページの質問を、
時計回りに隣の人に聞いてみよう

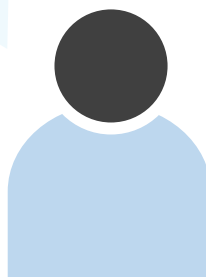


本を開いて質問する

質問への回答

ついつい やってしま
う せは？

ついつい やってしま
う のは…



質問したら、本を手渡す

答えたら、
次の人に質問する

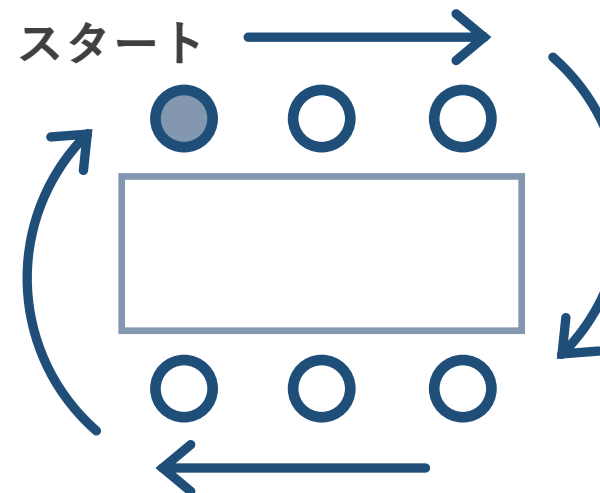
以降、繰り返し

できるように
なりたいことは？

...



スタート



時計回りに
一周する

グループワーク



1回目、2回目の振り返り

15分



企画書とする活動を選ぶ



グループ内で企画書作り

グループワーク



1回目、2回目の振り返り



企画書とする活動を選ぶ

30分



グループ内で企画書作り

今日のワーク②

今日（第3回）のテーマ②

市民共創のプラットフォームについて
グループで話してみよう

ワーク②について

- 市民共創のプラットフォームでどういう活動をしていくのか、仕組みをどうするのか…について、これまでワークショップで「やりたいこと」を出していただいた皆さんの意見を参考に、これから蒲郡市の皆さんと一緒に考えていきます。
- 最後、アンケートで皆さんひとりひとりの市民共創のプラットフォームに対するご意見をお聞きします。
- まずは、これからもこのワークショップのような皆さんとともに創り出す場を続けるにはどういったことが必要か、グループ内で他の人の意見を聞きながら考えてみてください。

話し合いのポイント（アンケート項目）

- 市民共創のプラットフォームでの活動が始まったら参加してみたい？
- チームリーダー（行いたい活動ごとにつくられたチームのリーダー）に挑戦してみたい？
- どういったサポートがあると活動しやすいと思う？
- 参加する場合、どのくらいの活動頻度が良い？



今後のスケジュール

6月22日（日）

第4回 ワークショップ

時間	14時～16時30分予定（13時半 開場）
会場	蒲郡市民体育センター 大会議室

ご記入頂いたアンケートは受付で
名札と一緒にスタッフへお渡しください。



おつかれさまでした！

お気をつけてお帰りください。第4回もお待ちしております。